

二〇二二年度 博士後期課程外国人留学生入学試験・二〇二一年度外国語能力試験 問題

早稲田大学大学院法学研究科

日本語小論文

民法研究指導(三枝)

三枝 健治

日本民法の債権法について、今般の改正により、合意が重視されるようになったとの評価がある一方、そのような評価に批判もある。このような評価の是非について、関連する具体的な規定を幾つか取り上げ、自身の母国での議論も紹介しながら、あなた自身はどう考えるか論じなさい。